

原子力防災学んで

住民学習会を前に研修に臨む市職員ら＝篠山市黒岡で



り。氏と。

幕トギ寺

す。ル、へ

ー

住民学習本格スタート

篠山市 3月までに81自治会で

篠山市は、市内の全自治会を対象にした「原子力防災学習会」をスタートさせる。現在、今月23日から来年3月までに、約80自治会が開催を予定。担当の市職員が学習会に赴き、学習会開催の経緯を説明し、住民とともに原子力防災の概要を学ぶ。今年4月に県が発表した福井県の原発が事故を起こした際の拡散シミュレーションで、国際基準を超える放射能が降ると予測された篠山。市は、「住民のみならずにも平常時だけでなく、事故時を想定して、何を知り、何を考え、何を学ぶべきかを知ってもらいたい」と呼びかけている。(森田靖久)

篠山市は福井県の高浜2倍超になると予測され、原発までの距離が45〜70キロ。県のシミュレーションでは、同原発が事故を起こした場合、甲状腺被ばく量が100〜1000倍となり、国際基準のなと原子力防災の根本的

な部分と被ばく対策としての「安定ヨウ素剤」について学習。市職員が司会進行などを務め、篠山市原子力災害対策検討委員会メンバーで、兵庫医科大学の上組憲彦さんの講演DVDを上映する。篠山市では、福井第一原発事故などを受け、同委員会を立ち上げて「原子力災害対策計画」の策定を目指しているほか、放射能の一種、「放射性ヨウ素」の甲状腺への取り込みを防ぐ安定ヨウ素剤を5万人分備蓄するなど、対策を進めている。そんな中、事故時の対策と並行して、住民への啓発が重要と判断。全自治会に学習会の開催を呼びかけ、7月に1自治会が受講したほか、今月から3月までに計80の自治会が開催を決めている。17日には職員を対象にした事前研修を篠山市民センターで実施。学習会の進め方や、上組憲彦さん



篠山版

丹波新聞
篠山支局 〒669-2212
TEL (079) 506-433
FAX (079) 506-161
本社 〒669-3309
丹波市柏原町柏原
TEL (0795) 72-053
FAX (0795) 72-195
URL http://tanba.
E-mail tanba@tanba
毎週日曜日・木曜日
月ごめ購読料1,255円(税)

ジ・フル・スタジ 使い放題



会員募集中

詳細はフロントまでお尋ね下さい
ピュアスポーツ相
TEL 0795-73-010

本日 8ページ

丹波今昔物語②
今週のテレビ番組
心ときめくスイーツ

秋の恵みに笑顔

西紀小 全児童が芋掘り

ふるさと
クイズ
第399問

たんきゅー

「ジャパン・マンモグラフィ・サンデー」の取り組みに賛同する全国の医療機関で、19日の日曜日に受けられる検診は？

住所 丹波市 心臓 3冊 解説 力表